2025年度　上　期

２０２５年１１月１９日

みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

団体名	かたくりの会	
代表者名	佐々木ゆみ子	
連絡先 TEL：０２２－２３９－３１６１ FAX：同じ		E-mail　hiroyumi1156da@gmail.com

１、助成事業報告

助成を受けた事業名	講演会「レジデンスなさはら」強度行動障がい者の生活を支えるグループホームの実践 講師：北摂杉の子会常務理事　平野貴久氏 実施日時　２０２５年１０月２２日（水） １０：３０～１３：００ 会場　仙台市男女共同参画推進センター （エル・パーク仙台　スタジオホール）
事業の目的	仙台市内に於いて重度知的障がいや強度行動障がいの方を対象としたグループホームなどの住まいの場所が少ないため、その親たちが子どもたちの将来の生活の場や支援者が増えていくことを願い、今回の講演会を企画した。保護者の皆様と思いを共有し、事業者の皆様には支援のあり方などの参考にしていただき、行政の皆様には、現場の実態や保護者の切実な思いを理解していただくことを目的とした。
事業の具体的内容	講演の内容は、強度行動障がいの状態像にある方々の特性理解と環境整備の具体例の提示、支援人材の育成には、外部主催のセミナー参加や支援チームでの話し合いの持ち方など実践していることが紹介された。また、法人や支援チームの理念を共有し、地域で豊かに暮らすことの意義を常に念頭に置いて対応する大切さを強調された。 特に支援については、支援者の統一した対応が障害のある方にとっての安心につながるので、ミーティングの時期を見極め、どのような対応が求められるのかなど指導的立場になる中核的人材の育成が不可欠であることや障がいのある方へのリスペクト（困った人ではなく困っている人と視点を変える）とともに、支援チーム内でのお互いを承認し合う文化の大切さが話された。 支援者側の高い人権意識が根底になければ障がいのある

	方の人生に携われない仕事であるとあらためて認識した。 講師の平野貴久氏の穏やかで誠実さを感じるお人柄に感激され、さらに大変すばらしい内容にもっとお聞きしたいとのお声も多くいただいた。
活動の開始から完了までの流れ	４月２８日　重度知的障がい者の住まいと暮らしを考える会として、福祉サービスの学習会を開始 強度行動障がい者の生活を支えるグループの実践「レジデンスなさはら」の実践（北摂杉の子会）という文献をインターネットから見つけ、感銘を受け、学習会で参考にした。 ５月２２日　仙台市との意見交換会 北摂杉の子会の実践のすばらしさを発達相談支援センターでも認識されていたこともあり、講演会開催に動き出した。 同時にかたくりの会としての体制作りも行った。 ６月３０日　講師平野貴久氏から仙台での講演について快諾を得て、会場確保、講演内容の打ち合わせ、日程調整チラシ作成などの検討に入った。 ７月　７日　みやぎ生協福祉活動助成金の申請 ７月１１日　打ち合わせ（要項など） ７月１４日～１６日　名義後援依頼書作成送付 ７月２５日　打ち合わせ（質問事項など） ７月２８日　打ち合わせ（チラシ作成、見積、配布方法） ８月１８日～９月１０日　チラシ配布作業（行政や事業所・支援学校、大学など） ８月２５日　講師平野さんとのオンライン打ち合わせ① ９月１日～１０月１日　参加申し込み受付 １０月１日～１０月１４日　ＮＰＯプラザにて資料印刷丁合作業（７日間） １０月７日　講師平野さんとオンライン打ち合わせ② １０月１７日　最終打ち合わせ（資料の袋詰め・受付名簿の確認・当日の役割分担など） １０月２１日　講師平野さん来仙（打ち合わせ夕食会） １０月２２日　講演会開催（会場設営・撤去） １０月２７日　反省会・収支計算
活動の成果と教訓	**参加者**　　**１８５名**（講師、顧問、河北新報社取材含む） （内訳）仙台市行政関係者　８名 発達相談支援センター関係　１０名 福祉事業者　７１名 家族保護者　７５名 一般　３名 建築不動産関係　２名 かたくりの会　１３名 かたくりの会顧問（招待）　１名

	資料代のみ　　３名 ・講演内容が大変すばらしく、本人の特性を理解することや対応の仕方など、早速支援に取り入れたいという事業者、保護者の感想がある一方、支援チーム内での共通理解、共通対応などを行うための話し合いの時間が取れないなど現場の厳しさも聞かれた。 ・離職率が高い職場で、いかに人材育成を行い、中核的人材に育てるかという大きな課題が浮き彫りになった。 ・強度行動障がい者のグループホームの暮らしについての情報がこれまであまりなかったことや、２時間半の講演の中で休憩を２回取り入れたことなどで、聴衆の皆さんは集中して最後まで熱心にお聞きくださった。 ・１８０名の来場者がスムーズに講演会に臨めるように事前に検討はしたが、混乱もなく入退室ができ安心した。
今後の展望など	・資材高騰、土地の確保、人材の確保などが大きな壁になっており、グループホーム新設は困難ではあるが、事業者が建設に前向きになれるような行政の支援などが必要である。今回行政関係者や福祉事業者が多く参加されたので、期待したい。 ・今回の講演をきっかけに、対応が難しい強度行動障がい者の行動の背景を考え、本人の抱える困難さを理解して支援する人材が増えていくことを願っている。 ・障がいの軽重にかかわらず、地域で豊かにその人らしく暮らせる場、支援する側される側にかかわらず、人としてお互いにリスペクトし合う関係が構築できる社会にするために、一人一人が高い人権意識をもたなければならないと強く感じた。

２、助成金使途報告書

■　収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	１００，０００	
参加料（資料代のみの方を含む）	９２，５００	５００円×１８２名（参加者） ５００円×３名（資料のみ）
寄付	１０，０００	株式会社ジェイアイシー様
寄付	２１，０００	（かたくりの会）小林様 佐藤様　（一般）綿引様
合　計	２２３，５００	

■　支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額（円）
講師謝礼	大阪～仙台往復交通費 宿泊費・謝礼	１００，０００	８０，０００
チラシ印刷費	デザイン料・印刷代	２３，０００	２５，０００
会場費（男女共同参画推進センター）	使用料午前　１３,２００ 午後　６,０００ 附帯設備使用料　６,２６０	２７，０００	２５，４６０
資料代	コピー用紙　６,１６５ 印刷代　６,３００ 封筒　１,９６０	０	１４，４２５
ＮＰＯプラザ使用料	会議室　１,２００ ロッカー　５００	０	１，７００
講師・顧問食事代	前日夕食２,９６０（１名） 当日昼食３,７８０（２名）	０	６，７４０
お茶・菓子代（昼食会・コスモスクラブ職員謝礼用）	昼食会お茶　１,７５５ お菓子３,３８０ 楽屋　３９６	０	５，５３１
お車代	コスモスクラブ職員へ	０	３，０００
事務用品費	スタッフ名札　９９０ 垂れ幕　１,０５６ ＳＤカード　２,５１０ コピー用紙など　４,７４２	０	９，２９８
合計			１７１，１５４

＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

障がいが重くても地域で安心して暮らすために**先進事例から学ぶ**

「レジデンスなさはら」強度行動障がい者の生活を支えるグループホームの実践

講師　社会福祉法人 北摂杉の子会　常務理事　**平野 貴久** 氏

1999年　北摂杉の子会は「地域に生きる」の法人理念のもと、大阪府高槻市に「職住分離」の入居施設『萩の杜』開設。(自閉スペクトラム症を伴う重い知的障がいのある方や強度行動障がいのある方を支援)

2006年　「重い障がいのある方が本当にグループホームで暮らすことができるのか」在宅障がい者の家族からの不安の声を受け、支援体制や費用などについて家族会と法人で勉強会を始める。

2008年　「新規グループホーム開設プロジェクト」を法人が立ち上げる。

2010年　＜厚生労働省平成21年度障害者保健福祉推進事業＞「強度行動障害を持つ自閉症者の地域移行を支えるGH・CH、および入所施設の機能の在り方に関する先進事例研究」に参加。

2012年　強度行動障がいのある方の「地域での豊かな暮らしの創造」を目的に『レジデンスなさはら』開設。

利用者の状況に応じた「環境整備」の重要性、人権意識を基本とする「人材育成」など、現在に至るまでの様々な課題について、どのように対応してきたのかをお話ししていただきます。



日時　2025年 **10月22日(水)** 10:30～13:00(開場10:00)

- 10:30～12:00 — 講演
- 12:00～12:15 — 休憩
- 12:15～13:00 — 質疑応答

会場　**エル・パーク仙台** スタジオホール

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目11-1　141ビル(仙台三越定禅寺通り館)6階

参加費　**500円**(資料代)　※学生は無料

主催　かたくりの会(重度障がい者の住まいと暮らしを考える会)

お問い合わせ　NPO法人コスモスクラブ すまいる作業所(佐藤)

Tel **022-773-8610**(火曜日～土曜日の9時～17時にお願いします)

後援　仙台市　社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会　河北新報社　ｔｂｃ東北放送　仙台放送　ミヤギテレビ　khb東日本放送

この講演会は「みやぎ生協福祉活動助成金」を受けています

講演会　「レジデンスなさはら」

強度行動障がい者の生活を支えるグループホームの実践

講師：北摂杉の子会常務理事　平野貴久　氏

次　第

２０２５年１０月２２日

１０：３０～１３：００

エル・パーク仙台スタジオホール

主催：かたくりの会

司会　森元　賀奈子

開会挨拶　　かたくりの会代表　佐々木ゆみ子

ご講演　　１０：３５～１２：１５（途中５分間ほどの休憩をはさみます）

＜休憩＞

質疑応答　１２：３０～１３：００

ご質問を受け付けます。
資料封筒内の質問用紙にご記入の上、**休憩時間**に担当の者にお渡しください。
講師平野様にお答えいただきます。

閉会挨拶　　かたくりの会　副代表　佐藤智香子

以上

平野貴久様プロフィール

所属・現職：社会福祉法人　北摂杉の子会　常務理事

同法人　　権利擁護虐待防止委員長

大阪府自立支援協議会委員

経　歴　：佛教大学社会福祉学科卒業

京都、滋賀の入所施設の立ち上げ等を経験した後

１９９９年に現在の北摂杉の子会入職。

入所施設「萩の杜」の生活支援主任や支援課長を歴任。

２００８年より生活介護事業所「ジョブサイトひむろ」施設長。

２０１２年より強度行動障がいのある方のグループホーム「レジデンスなさはら」

管理者、生活支援部門の統括部長を歴任。現在法人の常務理事。

コメント：強度行動障がいの状態像にある皆様のグループホームでの支援経験から、強度行動障がいの方の「暮らしの支援」に必要な環境、専門性、人材育成、権利擁護等について具体的な内容の話ができればと思っています。よろしくお願いいたします。


令和7年10月22日
「レジデンスなさはら」
強度行動障がい者の生活を支える
グループホームの実践


B
B 受付
【福祉事業所様】
A 受付